

# 令和7年度 不登校対策推進 「オールやまぐち」で!

子どもにとって・大人にとって

## 魅力 = 居場所ある 学校づくり

視点①  
自分らしさを  
発揮できる

視点②  
つながり  
を実感できる

視点③  
成長  
を確認できる

専門家・  
専門機関

地域  
人材

コミュニティ・スクールの協働体制

保護者

行政  
機関

学校運営  
協議会

家庭教育  
支援チーム



【不登校対策の目標値】

- 新規不登校を **0人** に
- 学校内外の機関等で相談・指導を受けていない不登校児童生徒を **0人** に



管理職のリーダーシップとマネジメント  
魅力ある学校づくり

(義務教育課地域支援・人事班)

全ての子どもたちの可能性を引き出す  
魅力ある授業づくりと「学び直し」

(義務教育課指導班)

「心をつなぐ1・2・3運動」の徹底  
不登校等への早期対応

(学校安全・体育課)

誰一人取り残され

ることのない

教育の推進

専門家等と連携した「ケース会議」  
不登校等への組織対応

(子どもと親のサポートセンター)

1人1台端末等のICTの効果的な活用  
不登校等への個別支援

(教育情報化推進室)

コミュニティ・スクールの連携・協働体制  
不登校等へのチーム支援

(地域連携教育推進課)

<参考> 山口県教育振興基本計画 令和9年度目標

- ・ 1,000人当たりの不登校児童生徒数 小・中 19人 (R5 : 37.9人)
- ・ 不登校児童生徒のうち学校内外の機関等で相談・指導等を受けている児童生徒数の割合 100% (R5 : 94.4%)